

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月25日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	7	0	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	法令を遵守したスペースを用意しておりますが、利用時間が重なる時間には手狭感が否めないこともあり、今後一層工夫してまいります。
	2	7	0	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	今後も人材確保をし、適切な配置に努めてまいります。
	3	3	4	現在、肢体不自由者の利用はございませんが、玄関やトイレの段差・狭さ、手摺りやスロープ等バリアフリーとなっていないため、必要に応じて一部介助などおこなってまいります。	現在、身体的に介助を必要とする利用者様はいませんが、今後は安全の確保等を促す為にも検討してまいります。当該者の利用がない為、貸店舗にてハード面の改修は難しいですが、保護者様等のご意見を取り入れながら改善していきたいと考えております。
業務改善	4	7	0	業務改善を図るためフレクシオン会議を毎月開催しています。	リフレクシオン会議等で目標を明確にした話し合いをおこない、全職員に周知し、業務改善をおこなってまいります。
	5	7	0	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	評価内容は全体へ周知し、話し合いを通して業務改善に努め、今後とも改善に努めてまいります。
	6	7	0	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7	0	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	8	7	0	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	今後も本社作成動画の視聴研修やオンライン研修、その他ケース会議などで勉強会を継続し、年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保してまいります。
	9	7	0	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	定期的にあセスメントをおこない、個別支援会議ではその内容を元に支援内容を話し合い、計画を作成しています。
	10	7	0	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。
	11	7	0	活動プログラムの立案をチームで行っている	職員全体会議で、活動プログラムを話し合い、チームで立案しています。
	12	7	0	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	活動プログラムの固定化を避けて、また偏りがないよう職員間で協議し、内容を組み合わせています。
	13	7	0	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。
	14	6	1	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。
	15	7	0	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	毎朝必ず打ち合わせをおこない、その日の利用児童の支援内容や職員の役割分担を確認しています。
	16	6	1	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	療育の担当が記録の記入、口頭での引き継ぎや定期的なケース検討会を開催し、情報共有をおこなっています。
	17	7	0	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々の療育内容は必ず当日に記録し、支援内容や当日の体調、情緒等も記録し、振り返りに活用できるようにしています。
18	7	0	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的に保護者様と面談をおこない、個々の状況に合わせて計画の見直しの必要性を判断し、目標設定などを勧奨しています。	
19	7	0	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	ガイドラインに沿い、支援が必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めています。また日々の打ち合わせや会議で児童の成長度合い・新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しています。	
関係機関や保護者との連携	20	7	0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児童の状況に精通している児童発達管理責任者が担当者会議に参加しています。
	21	7	0	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、送迎時の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	保護者様から学校行事や時間変更を教えてください、学校とも連携を図り、下校時刻の確認等連絡調整をおこなっております。
	22	0	7	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。
	23	7	0	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	担当者会議を通して、情報提供・共有をおこない、支援の方針が統一されるように努めています。
	24	7	0	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	関係機関で支援内容を情報共有する会議に参加し担当者会議を通して、支援の方針が統一されるように努めています。
	25	7	0	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	事業所を併用している児童については、担当者会議で情報共有を行い、相談支援専門員を通して様子を聞くなどしています。
	26	4	3	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在、コロナ禍にておこなえていません。
	27	0	7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	現在、コロナ禍にておこなえていません。
	28	7	0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	連絡ノートや送迎時等を利用して保護者の方との情報交換をおこない、児童について共通理解を深めていきます。
保護者への説明責任等	29	7	0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添った支援を心掛け、保護者様に支援内容を理解して頂き、お悩みの解決手段や、児童の成長のためにご協力を頂ける部分は、ご家庭でも取り組んで頂いています。
	30	7	0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時には運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めています。また、契約時のみならず保護者様のご要望がある時は、再度解りやすく丁寧にご説明しています。
	31	7	0	保護者からの子育てのお悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	連絡ノートや送迎時に頂くご相談や定期的な面談などは丁寧に聞き取り必要な助言や支援に努めています。
	32	0	7	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	保護者による子供の送迎時に保護者同士の交流も場面はあります。
	33	7	0	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	日々の利用に関するご相談については、迅速に対応できるよう配慮しています。苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明をおこなっております。
	34	7	0	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	季節ごとに「COMPASS だより」を発行しています。また公式 Web サイトのブログで月に1回程度、事業所の活動内容をご紹介します。
	35	7	0	個人情報に十分注意している	個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いには十分配慮しています。情報使用時には必ず保護者様に同意を得ています。
非常時等の対応	36	7	0	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	児童には状況や特性に合わせた伝達方法を心がけ、保護者様にはわかりやすいご説明や情報伝達を心がけています。
	37	0	7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在、コロナ禍にて難しく実施できておりません。
	38	7	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	事業所に掲示するとともに、訓練の実施に基づいて定期的に見直しをおこなっています。
	39	7	0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練は実施しております。訓練では児童の特性に応じた参加の方法を考慮しております。地震、風水害、火災不審者対策の避難訓練を年に各一回ずつおこなうようにしております。
非常時等の対応	40	7	0	虐待を防止する等、適切な対応をしている	事業者内で職員研修を行い虐待防止について周知に努めています。
	41	7	0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、止むを得ず必要となる場合には、児童や保護者様に十分なご説明をおこない、承諾を得て計画に記載するようにしています。
	42	6	1	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	アレルギーの有無はアセスメントの段階で確認は取っております。
	43	4	3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	事業所内外で起こった事例を記録し、定期的な振り返りをおこなうことで情報共有をおこなっています。
44	7	0	主にお口頭での引き継ぎが多くなっていますが、今後は記録での保管を行い、定期的な振り返りや新人職員等にも情報共有し、再発防止に努めてまいります。		